

実務に直結する資格

◆仕事×資格

仕事の幅が広がる

宅地建物取引主任者の資格は、リーシングに関わる部署にいる私の場合は、実務に直結します。

取得できれば、重要事項の説明など、ご入居者と接する業務ができるようになり、自分の仕事の幅を拡げられると思っています。

株式会社ダイニチリーシング推進課新人

塚田 圭祐

Keisuke Tsukada



◆朝晩合わせて5時間

合格したいの一心

入社した時から、この秋の試験に挑戦すること

はわかっていましたので、4月から勉強を始めました。夏からは、始業の2時間ほど前に出社して、朝1時間半、帰ってからは3時間半くらい毎日勉強しています。

過去の出題問題を繰り返し解いていますが、難しい法令関係の暗記問題が多く、覚えるのに一苦労

します。しかも、それを忘れないようにしなければなりませんから、とにかく勉強を続けることが大事だと思っています。

合格率は15%くらいといわれる難しい資格ですので、試験のことを考えると不安でいっぱいになります。

しかし、応援してくれている職場の先輩の期待に応えるためにも、「合格したい」という強い気持ちを力にして、追い込みをかけて行きたいです。

NEXTry!

次々とハッピーの素をうみだす
ダイニチ新人業務日誌

Vol.9 挑戦

知識を自信につなげる

不動産業には不可欠な資格、「宅地建物取引主任者」を取得するため、日々、試験勉強に励む新人たち。

「学びの秋」、挑戦の日は、日いちにちと迫っています。

株式会社 Dプライフ 法人営業課 新人

小代 隆志

Ryuji Ojiro



◆1日2〜3時間
不安をやる気に

家に帰ってから、1日2〜3時間ですが、毎日集中して試験勉強に取り組んでいます。先輩たちの「とにかく過去問解きまくれ」という、アドバイスの通り、ひたすら問題集に挑んでいます。

最初は、聞いたことのない単語や言い回しが多く、言葉を理解するのに手こずりました。5月から勉強をはじめたのです

が、いまだにわからないところも多く、全然時間が足りません。

職場では、模擬試験などで助けてもらっています。ダイニチでは、ほとんどの社員が持っている資格なので、先輩の体談がとても参考になると同時に、「難しいぞ」と言われ、プレッシャーにも…。

試験日が迫り不安ですが、その気持ちを落ち着かせるのは、勉強のみ。不安をやる気にして、ラストスパートをかけます！

◆仕事×資格

仕事の幅が広がる

宅地建物取引主任者の資格は、リーシングに関わる部署にいる私の場合は、実務に直結します。

取得できれば、重要事項の説明など、ご入居者と接する業務ができるようになり、自分の仕事の幅を拡げられると思っています。



◆仕事×資格

仕事に必要な知識

資格があるということ、そして、それを得るために学んだ知識は、営業の際の自信につながると思います。

法人のお客さまのさまざまな不動産の課題に対して、的確な提案をするためにも、必要な勉強だと考えています。